

事業報告書

1. 法人の概要

(1) 基本情報

①法人の名称

学校法人健生学園 東日本医療専門学校

②主たる事務所の住所、電話番号、FAX 番号、ホームページアドレス等

住所 仙台市太白区中田四丁目 4 番 35 号

電話 022-381-8381

FAX 022-381-8380

HP <https://www.kenseigakuen.jp/>

(2) 学校法人の沿革

平成 15 年 3 月 柔道整復養成施設設置指定申請承認
平成 15 年 4 月 健生学園 東日本医療専門学院 柔道整復科設立
平成 17 年 3 月 はり師・きゅう師養成施設設置指定申請承認
平成 17 年 4 月 鍼灸科設立
平成 18 年 1 月 学校法人設立認可
平成 18 年 1 月 学校法人 健生学園に法人変更
平成 30 年 4 月 増築工事完了
平成 31 年 4 月 ダヴィンチ英智保育園開園
令和 2 年 5 月 実践研究科開講

(3) 設置する学校・学部・学科等

東日本医療専門学校

令和 5 年 4 月現在募集を行っている学科

学科：柔道整復スポーツ科学科

鍼灸スポーツ科学科

コース：昼間部

募集定員：柔道整復スポーツ科学科 昼間部 60 名

修行年数 各学年 3 年

鍼灸スポーツ科学科 昼間部 30 名

修行年数 各学年 3 年

計 90 名

※スポーツ健康科学科(昼間部)は、現在募集を休止。

実践研究科

昼間部 30名

修行年数 1年

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(令和5年4月1日現在)

東日本医療専門学校	入学定員	入学者数
柔道整復スポーツ科学科	60	32
鍼灸スポーツ科学科	30	12

(5) 収容定員充足率

(毎年度5月1日現在)

東日本医療専門学校	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	元年度
定員	270	270	270	270	300
在校生	163	175	193	173	163
充足率	60.3%	64.8%	71.5%	64.1%	54.3%

※小数点第2四捨五入

(6) 役員の概要

番号	役職名	氏名	代表権の有無	住所	選任区分 (法第38条第1項)	任期		主な職業
						平成28年4月1日から 平成 年 月 日まで	年	
1	理事 校長	高橋 孝義	無	宮城郡 七ヶ浜町	第1号	平成28年4月1日から 平成 年 月 日まで	年	
2	理事 法人部長	中尾 淳子	無	仙台市	第2号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3 年	
3	理事 副校長	大渡 光弘	無	岩沼市	第2号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3 年	
4	理事	菅野 貴宏	無	名取市	第2号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3 年	
5	理事	佐々木 俊尚	無	仙台市	第2号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3 年	柔道整復師
6	理事 理事長	中尾 充	有	仙台市	第3号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3 年	(株)健生 代表取締役
7	理事	大塚 耕輝	無	仙台市	第3号	令和5年12月7日から	3	(株)フロンティア

						令和8年12月6日まで	年	代表取締役
8	理事	洞口 淳	無	名取市	第3号	令和5年12月7日から	3	医師
						令和8年12月6日まで		
9	監事	佐藤 大輔	無	石巻市		令和5年12月7日から	3	
						令和8年12月6日まで		
10	監事	佐藤 健一	無	仙台市		令和5年12月7日から	3	
						令和8年12月6日まで		

※令和7年4月より法改正為、任期が短くなる可能性がある

(7) 評議員の概要

番号	氏名	満年齢 (※)	選任区分 (法第44 条第1項)	任期		住所 (市町村名)	主な職業
				令和5年12月7日から	令和8年12月6日まで		
1	中尾 充		第1号	令和5年12月7日から	3年	仙台市	理事長
				令和8年12月6日まで			
2	高橋 孝義		第1号	令和5年12月7日から	3年	七ヶ浜町	校長
				令和8年12月6日まで			
3	中尾 淳子		第1号	令和5年12月7日から	3年	仙台市	法人部長
				令和8年12月6日まで			
4	大渡 光弘		第1号	令和5年12月7日から	3年	岩沼市	副校長
				令和8年12月6日まで			
5	菅野 貴宏		第1号	令和5年12月7日から	3年	名取市	学科長
				令和8年12月6日まで			
6	南洞 大宥		第1号	令和5年12月7日から	3年	名取市	学科長
				令和8年12月6日まで			
7	村田 幸一		第1号	令和5年12月7日から	3年	仙台市	鍼灸科教員
				令和8年12月6日まで			
8	目時 誠		第1号	令和5年12月7日から	3年	名取市	柔整科教員
				令和8年12月6日まで			
9	阿相 直樹	45	第2号	令和5年12月7日から	3年	柴田郡	あそう整骨院
				令和8年12月6日まで			
10	内田 勇太	37	第2号	令和5年12月7日から	3年	仙台市	きりん整骨院
				令和8年12月6日まで			
11	櫻井孝也	40	第2号	令和5年12月7日から	3年	仙台市	柔道整復師
				令和8年12月6日まで			
12	鈴木 聖也	31	第2号	令和5年12月7日から	3年	仙台市	鍼灸整骨院いろは
				令和8年12月6日まで			

13	千葉 卓也	40	第2号	令和5年12月7日から	3年	仙台市	たっく鍼灸遺骨院
				令和8年12月6日まで			
14	大塚 耕輝		第3号	令和5年12月7日から	3年	仙台市	会社代表
				令和8年12月6日まで			
15	洞口 淳		第3号	令和5年12月7日から	3年	名取市	医師
				令和8年12月6日まで			
16	酒井 淳		第3号	令和5年12月7日から	3年	伊達市	会社役員
				令和8年12月6日まで			
17	鈴木 一誠		第3号	令和5年12月7日から	3年	仙台市	はり師・きゅう師
				令和8年12月6日まで			

※「満年齢」は、第2号評議員についてのみ記入する

※令和7年4月より法改正為、任期が短くなる可能性がある

(8) 教職員の概要

令和5年4月現在

東日本医療専門学校

専任教員: 15名

非常勤教員: 19名

職員: 6名

ダヴィンチ英智保育園

専任職員: 6名

非常勤職員: 4名

産後休暇取得中: 2名

役員

理事: 8名 (学校長1名、評議員より選出4名、学識経験者3名)

監事: 2名

評議員: 17名 (法人職員: 8名、25歳以上の本校卒業生5名、学識経験者4名)

2. 事業の概要

(1) 教育目標

東日本医療専門学校

伝統医療を継承しつつ現代のニーズにあった人材育成を目指す

幅広いフィールドで即戦力となる人材の育成を目指す。

ダヴィンチ英智保育園

英語・体操・食育の3本柱を軸に国際性豊かな人間力のある子ども、五感の刺激や豊かな感性や社会性を身に付けることが出来る子供を育む。

(2) 主な教育・研究の概要

・「卒業の認定に関する方針」、「教育課程の編成及び実施に関する方針」、「入学者の受入れに関する方針」については別紙のとおりとする。

(3) その他

財務状況に関する説明

① 資金収支計算書

当該会計年度に行った教育研究等の諸活動に対応して生ずるすべての資金の収入及び支出の内容を明らかにします。

諸活動の対応関係に関わらず、現実に収納し、または支払った資金の収入及び支出についてそのてん末を明らかにします。

② 事業活動収支計算書

一会計年度中の事業活動収入及び事業活動の支出の内容を明らかにします。

基本金組入後の均衡状態が保たれているか否か計算・表示します。

③ 貸借対照表

一定時点(決算日)における資産および負債、純資産(基本金・繰越収支差額)の内容及び在り高を明示し、学校法人として財政状況(ストック)を明らかにするものです。すなわち、事業活動収支計算書の年度間の橋渡し役です。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
固定資産	505,005,973	515,450,679	495,468,599	501,392,050	510,700,869
流動資産	245,752,436	250,376,694	285,487,026	243,721,710	220,162,547
資産の部合計	750,758,409	765,827,373	780,955,625	745,113,760	730,863,416
固定負債	19,776,000	27,368,000	33,792,000	40,800,000	50,600,000
流動負債	114,762,021	124,775,253	136,138,851	154,571,234	138,867,132
負債の部合計	134,538,021	152,143,253	169,930,851	195,371,234	189,467,132
基本金	626,215,148	625,726,394	596,234,201	589,315,665	582,889,842
繰越収支差額	△9,994,760	△12,125,118	14,790,573	△39,573,139	△41,493,558
純資産の部合計	616,220,388	613,684,120	611,024,774	549,742,526	541,396,284
負債及び純資産の部合計	750,758,409	765,827,373	780,955,625	745,113,760	730,863,416

イ) 財務比率 ※小数点第2 四捨五入

固定資産 構成比率	有形固定資 産構成比率	流動資産 構成比率	固定負債 構成比率	流動負債 構成比率	純資産構 成比率	前受金保 有率
67.3%	66.4%	32.7%	2.6%	15.2%	82.1%	267.5%

② 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

収入の部	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
学生生徒等納付金収入	185,120,000	204,130,000	229,740,000	203,498,000	187,806,000
手数料収入	1,577,520	1,808,744	1,617,300	1,360,220	617,896
寄付金収入	7,600,000	6,800,000	0	0	350,000
補助金収入	34,788,347	34,007,539	34,639,791	29,701,839	50,043,686
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	4,043,920	3,544,200	3,976,885	4,480,300	4,551,440
受取利息・配当金収入	2,328	2,417	2,594	1,957	1,780
雑収入	3,216,453	889,634	70,714,061	848,547	1,079,927
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	91,672,500	102,086,000	113,501,000	127,129,000	113,425,000
その他の収入	64,131,432	58,810,410	52,950,447	62,703,176	56,376,521
資金収入調整勘定	△102,135,857	△113,852,318	△127,256,105	△113,844,693	△111,987,081
前年度繰越支払資金	249,406,896	284,827,721	243,075,208	213,473,657	182,844,382
収入の部合計	539,423,539	583,054,347	622,961,181	529,352,003	485,122,551

支出の部	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
人件費支出	160,711,946	164,619,479	163,288,080	165,108,452	162,030,666
教育研究経費支出	20,831,149	26,077,478	24,800,010	19,962,487	18,320,154
管理経費支出	40,520,722	45,997,901	80,379,278	31,424,687	31,850,378
借入金等利息支出	655,361	869,981	1,067,076	1,298,369	1,669,464
借入金等返済支出	6,424,000	7,008,000	9,800,000	9,720,000	10,530,000
施設関係支出	330,000	29,000,000	0	0	162,324
設備関係支出	318,416	2,185,673	5,001,525	4,441,807	541,254
資産運用支出	0	0	0	0	0
その他の支出	211,973,691	210,142,027	205,086,582	208,116,242	198,248,037
資金支出調整勘定	△147,554,836	△152,225,088	△151,289,091	△153,795,249	△151,703,383
翌年度繰越支払資金	245,213,090	249,406,896	284,827,721	243,075,208	213,473,657

支出の部合計	539,423,539	583,054,347	622,961,181	529,352,003	485,122,551
--------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

③ 事業活動収支計算書関係

ア)事業活動収支計算書の状況と経年比較

科目		令和5年度	令和4年度	令和3年度
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	185,120,000	204,130,000	229,740,000
	手数料	1,577,520	1,808,744	1,617,300
	寄付金	7,600,000	6,800,000	0
	経常費等補助金	34,788,347	34,007,539	34,639,791
	付随事業収入	4,043,920	3,544,200	3,976,885
	雑収入	3,216,453	889,634	70,714,061
	教育活動収入計	236,346,240	251,180,117	340,688,037
	事業活動支出の部			
	人件費	160,711,946	164,619,479	163,288,080
	教育研究経費	30,465,978	35,648,484	34,333,646
	管理経費	41,979,015	47,371,755	81,770,618
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	233,156,939	247,639,718	279,392,344
教育活動収支差額	3,189,301	3,540,399	61,295,693	
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	2,328	2,417	2,594
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	2,328	2,417	2,594
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	655,361	869,981	1,067,076
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	655,361	869,981	1,067,076
	教育活動外収支差額	△653,033	△867,564	△1,064,482
	経常収支差額	2,536,268	2,672,835	60,231,211
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	0	0	0
	特別収入計	0	0	0
	事業活動支出の部			

	資産処分差額	0	13,489	0
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	0	13,489	0
	特別収支差額	0	△13,489	0
	基本金組入前当年度収支差額	2,536,268	2,659,346	60,231,211
	基本金組入額合計	△488,754	△29,492,193	△6,918,536
	当年度収支差額	2,047,514	△26,832,847	53,522,102
	前年度繰越収支差額	△12,042,274	14,790,573	△38,522,102
	基本金取崩額	0	0	0
	翌年度繰越収支差額	△9,994,760	△12,042,274	14,790,573

(参考)

事業活動収入計	236,348,568	251,182,534	340,690,631
事業活動支出計	233,812,300	248,606,032	280,459,420

④ 財政比率

人件費比率	人件費依存率	教育研究 経費比率	管理経費比率	学生生徒等 納付金比率
68%	86.8%	12.9%	17.8%	78.3%

(2) その他

①借入金の状況

借入先	期末残高	利率	返済期限等
仙台銀行	27,368,000	2.350%	令和10年1月31日

②関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

役員・法人等の名称	事業内容又は職業	関係内容（役員の 兼任等・事業上の 関係）	取引の内容等	
(株)健生 ジャパン柔道整復師会	代表取締役、常務	理事、監事	広告協賛	60,000
			保守料	55,000
			年会費	154,000
(有)代替医療総合研究所	代表取締役、常務	理事、監事	学生駐車場	2,547,000
医療法人社団洞口会	医師	監事	教職員健康診断	294,150

令和5年度事業報告

柔道整復スポーツ科学科

本年度の柔道整復スポーツ科学科における各種取組について、次の通り報告いたします。

1. 教育目標を果たすための実践的教育に関する取り組みについて

- ・外部審査員を招いた実技評価を3年次秋に1回実施した。
- ・提携企業から講師を招きセミナー等を13回実施した。

(主な提携企業) 敬称略

株式会社オンアンドオン、株式会社サンキュー、株式会社シナジージャパン、株式会社爽健グローバル、日本セラピー株式会社、株式会社ハーツブリッジ、株式会社 HITOMIO テクノロジーズ、株式会社フロンティア、他

- ・各種スポーツ大会のトレーナー/救護派遣の際に希望学生を引率し、実際のスポーツ現場における各種活動の体験/見学を合計11回行った。

(主な派遣先)

- 1) 高校柔道大会
- 2) 中学サッカー大会
- 3) 少年野球合宿
- 4) 小学生サッカー大会 など

- ・プロスポーツ研修としてベガルタ仙台様の御協力のもとトレーナー業務の実務見学研修を2回行った。
- ・臨床体験研修としてスキー場にあるゲレンデ接骨院で急性外傷の診察および応急処置に関する研修を1回実施した。

2. 在校生の動向について

- ・柔道整復スポーツ科学科として退学率10%未満を目標に、個人面談や放課後の補習授業ならびに個別/集団学習指導等を実施して取り組んできたが、令和5年度は退学率13.7%と目標を達成することができなかった。退学理由としては学業不振が多くを占めており、令和6年度からの学習指導については従来型のやり方にとらわれず、さらなる工夫や個別面談等により問題を抱える学生の早期発見に尽力したいと考える。
- ・3年生の進路状況においては、就職希望者の就職率が100%に達した。各種就職支援のセミナーや就職ガイダンス等のイベントの充実が効果的だったものとする。

3. 資格検定試験の成果について

- ・令和5年度の柔道整復師国家試験において新卒合格率96.6% (全国平均84.0%) と昨年

に続き東北2位という結果であった。前年度の本校学生の問題ごとの回答状況、出題傾向の分析等から令和5年度は指導方針を修正して取り組んできたが、一定の成果を感じることができた。引き続き令和6年度も同様の成果を残せるように尽力する所存である。また、今年度は既卒の国家試験受験者向けにオンライン学習支援として、演習問題、オンライン試験、国家試験対策講義の動画の配信、オンライン個別指導等を実施した。今回の国家試験で合格していた既卒者の83%が利用した背景から一定の助力になっていたのではと推測する。次年度も既卒受験者の支援として継続して取り組みたい。

- ・日本トレーニング指導者認定試験について、令和5年度は合格率69%という結果であった。R5年度も約半年間の対策講義と課題学習を行ったが、学力不安の学生が多い学年ということもあり、近年の平均値よりも約20%下回る結果となった。R6年度の対策講義等の改善を図るとともに、当該学年の学習支援については早急な対応が必要であると考える。
- ・日本スポーツリハビリテーション学会認定トレーナー認定試験について令和5年度は合格率100%という結果であった。直前の対策講座の受講が合格率の高さにつながっていると考えられるため、次年度も継続して開催していきたい。

(参考：令和5年度の各種資格試験の概要)

(表1)柔道整復師国家試験 受験者状況について

学校名	総合			新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
東日本医療	50	34	68.0%	20	26	96.6%	21	6	28.6%
東北地方	329	212	64.4%	189	162	85.7%	140	50	35.7%
全国	5027	3337	66.4%	3183	2675	84.0%	1844	662	35.9%

(表2)日本トレーニング指導者協会認定試験の結果

	当校			全国		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
令和1年度	7	7	100.0%	1462	854	58.4%
令和2年度	26	23	88.5%	1642	1038	63.2%
令和3年度	26	21	80.8%	1625	878	54.0%
令和4年度	21	19	90.5%	1618	963	59.5%
令和5年度	13	9	69.2%			

(表3)日本スポーツリハビリテーション学会認定トレーナー認定試験の結果

	当校		
	受験者	合格者	合格率
令和3年度	35	32	91.4%
令和4年度	21	20	95.2%
令和5年度	10	10	100.0%

2023年度 鍼灸スポーツ科学科 事業報告書

1. 鍼灸スポーツ科学科のクラス編成および試験について。
 - (1) 鍼灸スポーツ科学科は3学年システムであり、1年生20名、2年生14名、3年生12名の計46名で2023年度を開始した。
 - (2) 全学年ともに前期15コマ、後期15コマの2期制であり、前期・後期の終わりに期末試験および再試験を実施した。
 - (3) 3年生は卒業認定実技試験を11月に1回、国家試験模擬試験を5月・6月・9月・10月・11月・12月の計6回実施した。

2. 学力向上、退学率低下への取り組みへの強化に努めた。
 - (1) 全体への学習サポートとして全学年とも夏季長期休みに特別補習を実施した。
 - (2) 各学年へ担任を配置して、担任が各生徒の学習状況を分析して、それぞれに適した学習指導を放課後に実施した。また担任が定期的に個別面談を行い、生徒の心の悩みを早期に把握して対策をするように務めた。
 - (3) 3年生への国家試験対策として、国家試験模擬試験の結果を分析して個々の生徒に対応した特別補習を放課後に実施した。
 - (4) 結果として3年生12名の全員が第32回はり師・きゅう師国家試験を受験して合格した。全学生46名中、留年者1名、休学者1名、退学者4名となる。

3. 実践的な教育への取り組みを強化した。
 - (1) 卒業認定実技試験の内容を強化するために、試験項目は①オスキー、②徒手検査法、③経穴取穴、④鍼灸技術の4項目で査定した。
 - (2) 鍼灸技術の向上のために本校卒業生や企業による鍼灸実技の特別講義を6月～9月の期間に計15回実施した。
 - (3) スポーツトレーナー育成の充実を計るために10月にベガルタ仙台でのプロスポーツ研修を実施した。
 - (4) 鍼灸の道具への知識を高めるために12月に鍼の製造会社の株式会社セイリン、灸の製造会社の株式会社山正とのオンライン工場見学を実施した。

4. 学生へのレクレーションとして各種イベントを実施した。
 - (1) 5月に楽天観戦、野口英世記念館への校外実習を実施した。
 - (2) 9月に体育祭を実施した。

以上